



みなもと小の児童に
身につけさせたい14つの力

- 1 人を大切にする力
- 2 自らの考えを持つ力
- 3 自分を表現する力
- 4 チャレンジする力

今年もよろしくお祈いします

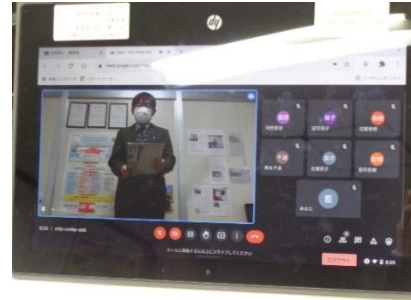
あけましておめでとうございます。本年も子どもたちのために職員一同、一致団結して指導していきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈いします。

さて、新年早々、オミクロン株の感染が広がり、中巨摩地区内の学校でも、子どもたちの感染や職員の感染が出始めています。今後の広がりが心配されるころですが、本校では、県教委・市教委からの要請に沿って、今まで行ってきた、検温、マスク、手洗い、消毒、換気、密を避ける行動等をしっかりと続けるとともに、教室に入る前の検温を行ったり、人数が多いクラスではクラスを分割して授業したり、給食を2教室に分かれて食べたり、感染防止を工夫して行っています。

ご家庭におかれましても、感染対策をしっかりと行っていただき、この危機をみんなで乗り越えて行きたいと思ひます。ご理解・ご協力をよろしくお祈いします。

3学期始業式

1月11日(火)に3学期始業式が行われました。18日間の冬休みを終え、しばらく見ない間にみんな一回り大きくなったように思ひました。子どもたちは日々成長していることを改めて実感しました。今回は、オミクロン株への感染防止により、児童が一堂に会することなく、リモートで各クラスに配信し行いました。子どもたちは決意も新たに新学期を迎えることができました。



避難訓練(火災想定)

13日(木)に避難訓練を行いました。今回は火災を想定しての訓練でした。最近ニュースでも火災の報道がよく出てきます。以前、本校の近くでも夜中に火災が発生し、死者がでたことがあります。冬は空気が乾燥し、火災が起こりやすいので、こういった訓練をすることにより、子どもたちに経験が蓄積され、もしもの時に、適切な行動をとることができるようになると思ひます。ご家庭でも、火災予防の観点でお子さんと話し合っておくと良いと思ひます。



学級役員任命式

18日(火)に、3学期の学級役員の任命式をオンラインで行いました。それぞれ良い学級を作ろうと役員になった子どもたち、本当に素晴らしいですね。3学期は短い学期ですが、まとめの学期でもあります。良いまとめをして次の学年に進級するためにも、学級役員さんが中心として頑張ってもらいたいと思ひます。

3学期の学級役員

学年	委員長	副委員長	委員	委員
2年	中澤 笑	川村 伊桜	藤田 和優	矢崎 陽太
3年	矢崎 崇人	櫻本 匠	金丸 栞汰	名取 拓飛
4年	塚原 菜月	秋山 蒼空	清水 楓月	橋爪 希典
5年	岩本 匠生	中込 蒼真	浅利 真杜	矢崎 莉帆
6年	齊藤 あいら	久保田 龍雅	河面 優奈	櫻本 光

5年校外学習

19日(水)に5年生が、甲斐源氏の里を訪れて、鎌倉時代の鎌倉と南アルプス市のつながりについて学習しました。文化財課の斎藤さんを講師に、若草地区の法善寺(加賀美遠光屋敷跡)、甲西地区の古長善寺(大井夫人お墓・夢想国師ゆかりの禅寺)、熊野神社(秋山光朝屋敷跡)、小笠原小学校(小笠原長清屋敷跡)をバスで巡ってきました。歴史の中心が鎌倉にあった頃、この南アルプスでも源氏を支え、源氏と共に生きた歴史があったことに、大きなロマンを感じます。また、古長善寺では、座禅の体験も行いました。5分間の座禅でしたが、座禅により大切な洗心(常に自分を点検し、心をきれいにしておく)ということ学びました。



菜の花会読み聞かせ

20日(木)になのはな会の鈴木さんが、1年生と5年生に読み聞かせをしてくださいました。感染対策を行い実施しましたが、子どもたちの心の成長に読書は欠かせません。読み聞かせをしていただくことで、コロナで委縮した心が、豊かに花開いてくれることを期待しています。ご家庭でもこんな時だからこそ、お子さんに素敵な本を読み聞かせてあげてください。



6年防災講和

20日に市防災専門官の三木さんをお招きして、6年生の防災講話を行いました。本校は何年か前に防災教育の研究指定校として取り組み、その成果を今に繋いでいます。歴史的に災害と大きく関係のある地域として防災の取り組みを現在でも行っています。災害時の避難の知識やいざという時のための準備について学習しました。是非、ご家庭でも子どもさんと避難について話をしてみてください。



新入学説明会

21日(金)に新入学説明会を行いました。新しく入学する1年生の保護者の皆さんが参加しました。みなさん熱心に本校職員の説明を聞いてくれました。来年度は新入児童が今のところ19名です。どんな子が入学してくるか楽しみです。

「心をそろえて、靴をそろえる」取り組み

下駄箱の靴をそろえる活動を今年度、取り組んできました。現在、子どもたちの80パーセントは、毎朝しっかりと靴をそろえることができます。20パーセントは、まだ意識できずに、声をかけられてそろえています。ぜひ、意識して、自分から靴をそろえることができると良いと思います。これも、小笠原礼法と同じで、他人に対する思いやりの心ですね。

